

殺菌剤

スクレア®フロアブル

マンデストロピン 40.0%

種類名/マンデストロピン水和剤
 農林水産省登録/第23701号(住友化学登録)
 毒性/普通物*
 有効年限/5年
 包装/166ml×40、250ml×20

特 長

- 菌核病に優れた効果を示します。
- なし黒星病、もも灰星病、ももホモブシス腐敗病に優れた効果を示します。
- 収穫前日まで使用可能です(ただし、茶は摘採3日前まで、ほうれんそうはは種7日後まで、つるむらさきは収穫7日前まで)。

適用病害と使用方法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

| 作物名 | 適用病害名 | 希釈倍数 | 10a当り 使用用量 | 使用時期 | 総使用回数* | 使用方法 | |
|----------------------------|-----------------------------------|---------------|---------------|------------|--------|------|------------------------------|
| りんご | 黒星病 輪紋病 | 2000～3000倍 | 200～700 ℓ | 収穫前日 まで | 3回 | 散布 | |
| | うどんこ病 モニリア病 | 3000倍 | | | | | |
| ぶどう | 晩腐病 黒とう病 うどんこ病 灰色かび病 | 2000～3000倍 | | | | | |
| | おうとう | 幼果菌核病 炭そ病 | | | | | 2000倍 |
| | | 灰星病 褐色せん孔病 | | | | | 2000～3000倍 3000倍 |
| も ネ ク タ リ ン | うどんこ病 灰星病 黒星病 ホモブシス腐敗病 | 2000～3000倍 | | | | | |
| | かき | | | | | | 落葉病 うどんこ病 炭そ病 灰色かび病 |
| なし | 黒星病 うどんこ病 輪紋病 心腐れ症(胴枯病菌) | 3000倍 | | | | | |
| | 胴枯病 | | | | | | |
| 小粒核果類 (うめを除く) | 黒星病 | 2000～3000倍 | | | | | |
| うめ | 環紋葉枯病 黒星病 | | | | | | |
| ト ミ ニ ト マ ト | 菌核病 斑点病 | 2000倍 | 100～300 ℓ | | | | |
| なす | 菌核病 褐紋病 フザリウム立枯病 | | | | | | |

(つづく)

| 作物名 | 適用病害名 | 希釈倍数 | 10a当り 使用液量 | 使用時期 | 総使用回数* | 使用方法 |
|--|------------------------------------|----------|-------------------|-------------|--------|------|
| きゅうり はくさい メロ ピーマン とうがらし類 | 菌核病 炭そ病 | 2000倍 | 100～300ℓ | 収穫前日 まで | 3回 | 散布 |
| カリフラワー キャベツ レタス 非結球レタス | 菌核病 | | | | | |
| ブロッコリー | 菌核病 黒すす病 | | | | | |
| いちご | 菌核病 うどんこ病 | | | | | |
| すいか | 菌核病 炭そ病 つる枯病 | | | | | |
| 非結球あぶらな科 葉菜類 しゅんぎく | 炭そ病 | | | | | |
| ほうれんそう | 萎凋病 | 1000倍 | 1ℓ/m ² | は種7日後 まで | 2回 | 灌注 |
| つるむらさき | 紫斑病 | 3000倍 | 100～300ℓ | 収穫7日前 まで | 3回 | 散布 |
| たまねぎ | 灰色腐敗病 灰色かび病 小菌核病 | | | | | |
| 豆類 (種実、但し、だいず、 らっかせいを除く) 豆類 (未成熟、但し、 さやえんどうを除く) | 菌核病 炭そ病 灰色かび病 | | | | | |
| さやえんどう | 褐斑病 褐紋病 菌核病 炭そ病 灰色かび病 | | | | | |
| だいず | 紫斑病 菌核病 炭そ病 灰色かび病 | | | | | |
| 茶 | 輪斑病 新梢枯死症 炭そ病 もち病 網もち病 | 200～400ℓ | | 摘採3日前 まで | | |

使用にあたって

■使用上の注意

- 使用前に容器をよく振ってください。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調製してください。
- みずかけな(水掛菜)に使用する場合は、圃場内に水がない状態で使用してください。また、使用后14日間は入水しないでください。

- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合には、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■葉 害

- ぶどうに使用する場合、果粉の溶脱を生じるおそれがあるので注意してください。
- なしに使用する場合、花卉の焼け、葉への褐点発生等の葉害を生じるおそれがあるので、次の点に注意してください。
 - ①開花期に使用する場合は、展着剤を加用しないでください。
 - ②他の薬剤を混用する場合や展着剤を加用する場合は、事前に葉害の有無を十分に確認してから使用してください。
 - ③気象条件等により散布時や散布後に湿度が高く、薬液が長時間乾かなかった場合は、葉害が生じやすいので、使用しないでください。
 - ④施設栽培、トンネル栽培、雨除け栽培などの多湿になりやすい条件下では薬液が乾きにくいおそれがあるため、注意して使用してください。
 - ⑤高温多湿となりやすい施設栽培の場合は、散布前後に十分な換気を行い、極端な高温多湿となりやすい条件の場合は散布しないでください。
- 施設栽培で施設内が高温多湿な場合は、葉害を防ぐため散布前後に十分な換気を行ってください。また、特に極端な高温多湿となりやすい条件の場合は使用しないでください。
- 乾燥が続く条件下においてほうれんそうに対し灌注で使用する場合、株立数減少などが起きることがあるので注意してください。

■貯蔵上の注意

- 密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に保管してください。

本資料の記載内容は2024年7月25日現在の登録内容に基づいています。